

一般社団法人日本粘土学会 平成 30 年度第 4 回常務委員会議事録

日 時：平成 30 年 8 月 25 日（土）13:00～14:55

会 場：早稲田大学西早稲田キャンパス 62W 号館 1 階大会議室

出席者：常務委員(17 名)：八田珠郎、千野裕之、小暮敏博、河野元治、日比野俊行、蛭名武雄、
太田俊一、小口千明、佐藤 努、志々目正高、篠原也寸志、田村堅志、手束聡子、
丸茂克美、山崎淳司、横山信吾、鈴木憲子

委任状提出常務委員(1 名)：鈴木正哉

監事(2 名)：月村勝宏、山崎淳司

事務局：川島朝子

成立確認：常務委員総数 18 名の過半数 9 名

出席常務委員 17 名、委任状提出常務委員 1 名、合計 18 名で常務委員会の開催は成立

審議事項

1. 平成 30 年度事業報告（資料 1：平成 30 年度総会議案書（案）の第 1 号議案）

(1) 学術雑誌の編集と発行

1) 粘土科学：日比野編集委員長から資料を基に報告があった。

2) Clay Science：蛭名委員長から報告と以下資料の訂正があった。

平成 29 年 12 月を平成 29 年 8 月、平成 30 年 5 月を平成 30 年 3 月、平成 30 年 8 月を平成 30 年 6 月に訂正。

研究発表会・見学会等の開催

1) 第 61 回粘土科学討論会（富山大学）の開催：河野常務委員長から資料を基に報告があった。

2) 第 62 回粘土科学討論会（早稲田大学）の準備：山崎実行委員長から資料元に報告があった。6)の「USB」を「USB 作成」に訂正をした。

(2) シンポジウム・セミナーの開催

1) 第 61 回粘土科学討論会でのシンポジウム開催：田村企画委員長から資料を基に報告があった。

2) 第 62 回粘土科学討論会でのシンポジウム準備：田村企画委員長から資料を基に説明があった。

(3) 参考粘土試料：河野常務委員長から資料を参考に報告があった。

(4) 広報：横山委員から資料を基に報告があった。

(5) 渉外：佐藤委員から資料を基に報告があった。

(6) 表彰：河野常務委員長から資料を基に報告があった。

(7) 研究促進：河野常務委員長から資料を基に報告があった。

(8) 庶務：篠原委員から報告があった。別紙として本日現在の会員数が報告された。

(9) 学会誌等の電子化：河野常務委員長から資料を基に報告があった。

(10) 常務委員会および理事会：河野常務委員長から資料を基に報告があった。

以上、審議の上承認された。

2. 平成 30 年度収支決算報告及び監査報告（資料 2：平成 30 年度総会議案書（案）の第 1 号議案）

志々目委員から資料に基づき、本年度決算は若干の黒字となったことが説明され、次年度からはさらに改善される見通しであることが報告された。なお、学会誌出版事業収入の広告

収入の備考「CS 誌 2 件」を「CS 誌 4 件」に訂正した。また、日比野粘土科学編集委員長より粘土科学刊行費支出に 57 巻 1 号が抜けているとの指摘があり訂正した。続いて山崎監事より、監査報告がなされた。以上、審議の上承認された。

3. 平成 31 年度事業計画（資料 3：平成 30 年度総会議案書（案）の第 3 号議案）

(1) 学術雑誌の編集と発行

- 1) 粘土科学：日比野編集委員長から資料を基に報告があった。
- 2) Clay Science：蛭名委員長から資料を基に報告があった。また以下の訂正があった。
平成 30 年 12 月を平成 30 年 8 月、平成 31 年 1 月を平成 30 年 12 月、平成 31 年 5 月を平成 31 年 3 月、平成 31 年 8 月を平成 31 年 6 月に訂正。

(2) 研究発表会・見学会等の開催

- 1) 第 62 回粘土科学討論会（早稲田大学）の準備と開催：山崎実行委員長から資料元に説明があり、当日配布のプログラムへ 4 社の広告が掲載されることが報告された。
- 2) 第 63 回粘土科学討論会の準備：小口実行委員長から資料を基に報告があった。

(3) シンポジウム・セミナーの開催

- 1) 第 62 回粘土科学討論会でのシンポジウム開催：田村企画委員長から資料を基に報告があった。
- 2) 第 63 回粘土科学討論会でのシンポジウム準備：田村企画委員長から資料を基に説明があった。

(4) 参考粘土試料：河野常務委員長から資料を参考に報告があった。

(5) 広報：横山委員から資料を基に報告があった。

(6) 渉外：佐藤委員から資料を基に報告があった。

(7) 表彰：河野常務委員長から資料を基に報告があった。例年通りの方法で受賞者の推薦募集をする予定である。

(8) 研究促進：河野常務委員長から資料を基に報告があった。

(9) 庶務：篠原委員から資料を基に報告があった。

(10) 学会誌等の電子化推進：河野常務委員長から資料を基に報告があった。

(11) 常務委員会および理事会：河野常務委員長から資料を基に報告があった。

以上、審議の上承認された。

4. 平成 31 年度収支予算（資料 4：平成 30 年度総会議案書（案）の第 4 号議案）

志々目会計委員から資料 4 を基に説明があり、審議の上承認された。

5. 平成 30 年度総会の日時、場所、議案及びその内容（資料 5-1：平成 30 年度総会議案書（案）の第 5~8 号議案、資料 5-2）平成 30 年度総会議案書（案）

河野常務委員長から資料を基に説明があり、審議の上承認された。

6. 平成 30 年度総会の準備、進行、登記のスケジュール（案）（資料 6）

河野常務委員長から資料を基に説明があり承認された。また、各担当委員への準備等の依頼がなされた。

7. 平成 30 年度表彰式の進行（資料 7）

河野常務委員長より資料を基に説明があり、進行、担当等の審議の後承認された。

8. 第 62 回粘土科学討論会について（資料 1 および別途配付資料）

山崎実行委員長より資料を基に討論会準備状況の説明があり、審議の上承認された。なお、今年度の見学会については討論会とは切り離して「ポスト討論会」として実施する旨の説明がなされた。

9. その他：

志々目会計委員から会費長期未納者の扱いについて発案があった。現在 3 年以上の未納者が 12 名おり、催促しても返信が無い。定款で「2 年」の会員資格停止があるが、定款の施行が昨年なのでまだ適用はできない。定款によりとは言わず警告を発して、期限内に支払いが無い場合はリストを回覧して資格停止の承認を次回の理事会に諮ってはどうかという意見があった。

報告事項

1. 特になし

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、常務委員長及び監事がこれに記名押印する。

平成 30 年 9 月 5 日

一般社団法人日本粘土学会 常務委員会

常務委員長 河野元治 ㊞

監 事 月村勝宏 ㊞

監 事 山崎淳司 ㊞